

佐々町立佐々中学校 学校だより(HP)

「恒風」

第 16 号 令和 4 年 12 月 12 日(月) 文責 校長 井上博之

○ 地域から嬉しいおしらせをいただきました

11/8(火)の夕方、佐々町公民館長様よりお電話を頂きました。内容は「公民館の外で、花の鉢植えの作業をしていたら、3年の女子中学生2人がやってきて、手伝わせて下さい。と言って、作業を手伝ってくれた。本当にありがたかった。とても感謝、感激してお電話しました。」とのことでした。普段からお世話になっている地域社会に、進んで役立つ行動ができる生徒がいることは、とてもうれしく、誇らしく、心が温まる思いになります。うれしいご連絡をいただき、ありがとうございました。

○ 税の作文表彰がありました

11/25(金)16時20分から、校長室にて、平戸税務署の方が来校され「税の作文表彰」が行われました。

受賞は、長崎県納税貯蓄組合連合会会長賞、平戸税務署長賞、平戸税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞でした。また、学校への感謝状も頂きました。文化面での活躍も光る佐々中学校です。受賞されたみなさん、おめでとうございます。



○ デートDV防止教室を開催しました

11月28日(月)5,6校時に本校体育館にて3年生を対象として令和4年度デートDV防止教室を開催しました。

目的は、「現在、社会問題化している10代のデートDVについての早期予防を行うことで、より良い男女交際のあり方や人権について考える機会とする」ことです。講師は、昨年度もお願いしましたNPO法人DV防止長崎の岳村由美子様でした。



講演では、ジェンダーや格差、人権に関すること、交際中に相手を束縛し、心・身体・性的に相手を自分の思うとおりにしようとするものの危険性、早く暴力に気づき、Noといえる対等な人間関係をつくることの大切さなど、わかりやすくお話されました。また、相手を責める you メッセージより、自分の気持ちを言葉にする I (アイ) メッセージが有効であること等をワークシートを使って学び、さらに、生徒代表によるロールプレイで、日常での友達とのトラブル(会話)の例を通して、どのように意思表示をしたら良いかみんなで考えました。

○ 3年生が修学旅行発表会を2年生に行いました

11/29（火）6校時に体育館で3年生が2年生を対象に「修学旅行報告会」を行いました。これは、今年度の新たな取組である「ピア・サポートプログラム」の一つとして初めて実施しました。

3年生は、各班で自分たちの修学旅行の振り返りとまとめを行い、タブレットPCでスライドを編集し、2年生に向けて学んだこと、経験したことを伝えました。2年生は興味を持って真剣に聞いていました。今年度は、このような形で学校行事の中（体育大会、合唱コンクール、職場体験学習等発表会等）で学年間の交流を仕組み、生徒の自己効力感、お互いに助け合い、支え合う気持ちの育成を図っています。



○ 人権学習基礎、全校人権講演会を開催しました

今年度2学期の人権学習は、9月に各学年別の人権学習（基礎①）、11/9の人権学習（基礎②ー1）、11/29の人権学習（基礎②ー2）を行い、その中で、日本にあるいろいろな人権課題を知ること、差別とは何か？差別する心について考えること、「アンコンシャス・バイアス」「マイクロアグレッション」等の無自覚・無意識に人を傷つけ差別してしまうことの理解を進めてきました。

本校における人権学習では「自分の感情に気づき、さまざまな感情を認めること」「感情を言葉にすること」「人によって感じ方が違うこと」「安心して本当の気持ちを分かち合える集団をつくること」「自分を発見し、大切にできること」「社会の中の差別の現実とその克服への努力が全ての人の人権を保障することに気づくこと」などのねらいを、段階的に達成できるよう取り組んできました。

そして11/30（水）5、6校時には本校体育館にて外部講師をお招きして人権学習講演会を開催しました。講師は、山口県人権啓発センター事務局長 川口泰司 様です。講演会では是非、全生徒へ直接訴えたいという講師の願いで、全校生徒が体育館に集まり、川口さんの講演を聴きました。同和問題やネットでの差別を許さず、どう戦っていくか？川口さん自身の体験を通して生徒の様々な思いや考えが広まり、深まって、最後の質疑応答では多くの生徒から感想や気づいたこと、こんな学校にしたい等の意見が出ました。

